



4年生見学旅行 in 山都町

6日(金)は、4年生の見学旅行でした。4年生は、清和文楽館や通潤橋に行きました。清和文楽の「文楽」とは、日本の伝統芸能である人形劇の人形浄瑠璃を指す代名詞です。昭和54年、清和文楽人形芝居が熊本県の重要無形文化財に指定され、現在熊本県に残る唯一の人形浄瑠璃芝居です。子供たちは、「👹『帯西レッド』の心が伸びました。実際に(人形を)動かしてみても、人の様に動かすには、すごく練習したことがわかったから。」「👹『帯西ブルー』の心が伸びました。動画では見ていたけど、(人形の)動きがすごかったです。」と現地で実際に見て触れる人形に子供たちは、大いに関心をもったようです。



通潤橋は、ご存じのとおり、今年の9月25日(月)に、正式に国宝に指定されました。通潤橋のような土木構造物が国宝に指定されるのは全国初だそうです。子供たちは、実際に大きな石橋を目の前にすると「👹『帯西ブルー』の心を感じた。教科書とは違って、大きさや迫力に感動した。」「👹『帯西レッド』の心が伸びた。こんな大きな橋を、石をコツコツ積み重ねてできたから。」と言っていました。

また、円形分水(通潤橋から約6km上流にある農業用水を分ける施設。中央から水が吹き出し、田の面積に応じて平等に水を分けている。)では、昔の人の知恵に感心していました。

帯山西校区体育祭

昨日9日(月)は、校区の体育祭が4年振りに開催されました。8日(日)の予定でしたが、生憎の天候のため、延期を余儀なくされました。昨日も朝から小雨模様でしたが、その不安も地域の方々の熱気で吹き飛ばしたかのように、晴間が広がり、競技に歓声が上がっていました。本校からも子供たちが200人以上も参加し、「運だめし」



パン食い競争の一場面

や「パン食い競争」「町内対抗リレー」に出場していました。特に「パン食い競争」は一昔前だったら、パンを食べて走ることは暗黙のルールだったのですが、今どきはそういう経験も無く、手で取って走り去る姿に、隔世の感を覚えました。競技後すぐに、そのパンを美味しそうに頬ばる子供たちの姿は可愛かったです。

今回の体育祭は、帯山西校区スポーツ協会が主催され、競技内容や景品の準備等、細やかな気配りとリーダーシップの下で開催していただき感謝しています。また、校区内のさまざまな方との交流が生まれ、意義ある体育祭だったと思います。